

歯科医院のための

訪問歯科診療 6W1H

編著 | 藤井一維 (日本歯科大学 新潟病院)
著者 | 日本歯科大学 新潟病院
(訪問歯科口腔ケア科) (総合診療科)
白野美和 黒川裕臣
吉岡裕雄 荒川いつか
赤泊圭太
廣澤利明 (臨床講師 | 長岡おとな・こども歯科クリニック)
(歯科衛生科) (地域歯科医療支援室)
池田裕子 神田明



ISBN978-4-89581-022-7

A5 判／フルカラー／192 頁／本体 4,300 円＋税

安心・安全な訪問診療のために。 重要ポイントを独自の“6W1H”視点で実践的に解説。

1987年、約30年前に在宅歯科往診ケアチームを設置した日本歯科大学新潟病院。長年にわたり培ってきた知識・経験をもとに、訪問診療の基本、患者の状態把握、全身疾患や服用中薬剤への対応、医療連携などのポイントをまとめ上げました。超高齢社会の訪問歯科診療に、必携の1冊です。

I 訪問歯科診療でのカルテ記載 6W1H

訪問歯科診療の診療録における 6W1H

II 患者の状態を把握するための6W1H

コミュニケーション 生活状態・介助 医療情報 居住環境

III 全身疾患を把握するための6W1H

脳血管障害 高血圧症 虚血性心疾患 心不全 その他の心疾患 (不整脈、心臓弁膜症) 糖尿病 認知症 誤嚥性肺炎 骨粗鬆症 腎疾患 肝疾患 自己免疫疾患・アレルギー 呼吸器疾患 神経・筋系疾患 精神障害 うつ病 身体障害 終末期

IV 注意を要する服用中薬剤

訪問歯科診療での薬剤情報収集の意義・方法
抗血小板薬・抗凝固薬 骨代謝系薬剤 ステロイド剤・免疫抑制剤
向精神薬 解熱鎮痛薬 循環器系薬剤 抗がん剤

V 知っておくべき臨床検査値

体温 血圧 経皮的動脈酸素飽和度 (SpO₂) 赤血球 白血球
ヘモグロビン ヘマトクリット値 LDL コレステロール HDL コレステロール γ-GTP AST ALT ALP 空腹時血糖 HbA1c C 反応性蛋白 (CRP) ...

VI これだけは外せない！訪問歯科診療のポイント

ADL からの評価 口腔ケア時の体位 摂食・嚥下

VII 多・他職種との連携のポイント

主治医との連携 ケアマネジャーとの連携 歯科衛生士への指示 (訪問歯科診療の現場から) 歯科衛生士の役割 地域連携室の視点から

VIII もしも患者が急変したら

緊急時の 6W1H



